

2025 年度第1回まるっと協議体全体会 要点録

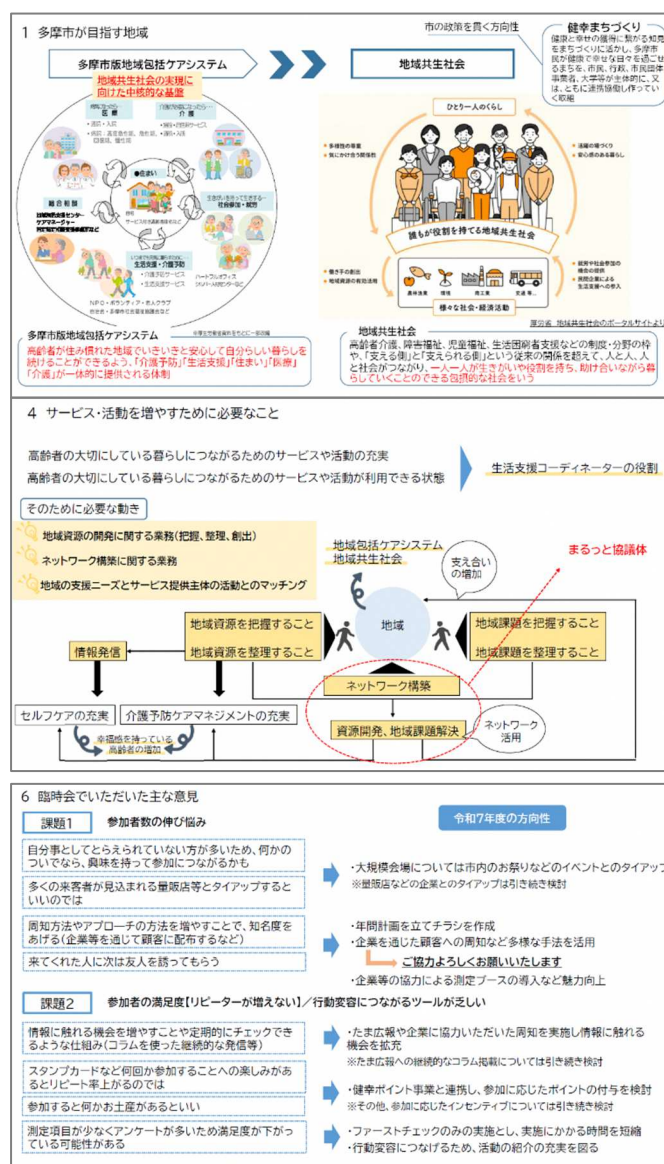
開催日:2025 年 6 月 26 日(木)

場所:多摩市関戸公民館 VITA ホール

時間:14 時~16 時

参加者:(詳細は名簿参照)

1, 生活支援体制整備について、今年度のTFPPの取組について(市から)



多摩市では、高齢者が今まで行ってきた生活を地域の中で続けるためのサービスや活動の充実・サービスや活動が利用できる状態を生活支援体制整備事業で目指し、それが生活支援コーディネーターの役割としている。まるっと協議体を通じ、高齢者のサービスや活動など多様な選択肢を増やしていくことにつなげていきたい。

「多摩フレイル予防プロジェクト(TFPP)」では、要支援・要介護状態になる前の高齢者を早期に把握し、健康維持のための行動変容を促すことを目的としている。しかし、参加者数の伸び悩みや満足度の低さが課題となっており、今後は広報方法の多様化やイベントとの連携、企業との協力を強化していく方針。今後も意見や協力をおねがいしたい。

2, まるっと協議体 各プロジェクトの進捗状況の共有

昨年度、「移動のプロジェクト」では、多摩市の地理的特性である高低差や団地の階段による移動の困難さに着目し、住民アンケートを通じて詳細な課題把握を進めていく。「生活支援プロジェクト」では、住民が主体となって提供する訪問型サービス(訪問 B)の実態調査を行い、活動していないサポーターが多い現状や、従来のヘルパーサービスとの違いが曖昧であるといった課題が浮き彫りになった。これにより、訪問 B のあり方を見直す必要性が認識され、「訪問 B 検討会」も新たに発足した。

3,「老いに備える・自分事にするためには」について意見交換(以下まとめからの抜粋)

- 年齢問わず若い世代からの啓発の必要性 ○相談のハードルを下げるアプローチ
- 情報提供だけでなく体験も合わせたもの ○押しつけにならないアプローチ

4, 今年度のプロジェクトについて

2025 年度は、以下の 5 つのプロジェクトを推進していく。昨年度は課題整理が主であったが、今年度は、それぞれに動きがある予定。いずれのプロジェクトも、途中からの参加も可能なため、興味あるものにぜひ参加いただきたい。

①移動のプロジェクト:

アンケート調査を基に、移動困難なエリアでの具体的な支援策を検討予定。

②生活支援プロジェクト:

チケットやポイント制度の導入を含めて、生活支援活動の情報収集・一覧化を通じて、住民の助け合いを促進していく動きを予定

③訪問 B 検討会(新規):

従来の訪問 B と、住民が主体となる真の訪問 B の 2 つのあり方を並行して検討し、制度設計の提言を行っていく

④活躍プロジェクト(新規):

高齢者の社会参加や就労支援に焦点を当て、ボランティアだけでなく、対価を伴う活動の可能性も探っていく。企業からの協力を得ながら、新たな活躍の場を創出することを目指す。

⑤啓発プロジェクト(新規):

高齢者自身や若い世代が、将来の生活や介護について「自分事」として捉えられるよう、効果的な情報提供や体験機会の創出を目指す。行政任せではなく、市民一人ひとりが主体的に行動できるよう意識改革を促していきたい。

5, その他連絡事項

- ・多摩市のホームページへの企業・団体の名称掲載について、掲載を希望しない場合は市に連絡いただきたい。
- ・1層生活支援コーディネーターと交換した連絡先の市への共有についても、不可の場合は1層生活支援コーディネーターに連絡いただきたい。
- ・認知症政策に関する研修(街づくり研究所と慶應義塾大学堀田聡子先生との連携事業)が7月31日と8月29日に開催される。企業や市民(特に互助活動に関心のある方)の参加をお待ちしています。
- ・7月5日に開催される「多摩フレイル予防プロジェクト」イベントにおいて、参加企業のロゴを掲示する機会が設けられます。希望する場合は7月1日までにロゴデータの提供をお願いしたい。

以上

次回まるっと協議体全体会は、10月ごろを予定。